

# 資料

---

---

歴代広島市長

歴代助役

歴代収入役

歴代市議会議長

歴代市議会副議長

姉妹・友好都市

主要観光地

主要観光施設

主要観光案内所

広島土産

年中行事

郷土史

主な市政日誌

索引

---

---

歴代広島市長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	三木 達	明治 22. 8.29	明治 22.11.28	17	藤田 若水	昭和 14.12.26	昭和 18. 5. 9
2	伴 資健	22.11.28	28.11.27	18	粟屋 仙吉	18. 7.10	20. 8. 6
3	佐藤 正	29. 1.10	29. 4.20	19	木原 七郎	20.10.22	22. 3.22
4	伴 資健	29. 4.30	35. 4.26	20	濱井 信三	22. 4.17	26. 3.31
5	伴 資健	35. 4.30	39. 8.30	21	濱井 信三	26. 4.25	30. 4. 8
6	高束 康一	39. 8.31	42. 4.24	22	渡辺 忠雄	30. 5. 2	34. 5. 1
7	小田 貫一	42. 5.17	42. 7.22	23	濱井 信三	34. 5. 2	38. 5. 1
8	渡辺 又三郎	42. 9. 9	43. 7. 3	24	濱井 信三	38. 5. 2	42. 5. 1
9	長屋 謙二	43.9 .28	大正 2. 2.16	25	山田 節男	42. 5. 2	46. 5. 1
10	豊島 陽蔵	大正 3. 1.29	3. 4. 2	26	山田 節男	46. 5. 2	50. 1. 8
職務 管掌	武岡 充忠	3. 3.20	4. 1.21	27	荒木 武	50. 2.23	54. 2.22
11	吉村 平造	4. 1.22	5.12.25	28	荒木 武	54. 2.23	58. 2.22
12	田部 正壮	6.10. 8	10.10. 7	29	荒木 武	58. 2.23	62. 2.22
13	佐藤 信安	11. 4.17	14. 1.21	30	荒木 武	62. 2.23	平成 3. 2.22
14	川淵 竜起	14. 8.24	昭和 4. 8.23	31	平岡 敬	平成 3. 2.23	7. 2.22
15	伊藤 貞次	昭和 5. 5.16	9. 5.15	32	平岡 敬	7. 2.23	11. 2.22
職務 管掌	井田 完二	9. 3.18	10. 1.19	33	秋葉 忠利	11. 2.23	15. 2.22
16	横山 金太郎	10. 2.26	14. 2.25	34	秋葉 忠利	15. 2.23	19. 2.22

歴代助役 (1/2表)

順次	氏名	就任年月日	退任年月日	順次	氏名	就任年月日	退任年月日
1	中島 午城	明治 22. 9.10	明治 28. 9. 4	19	森下 重格	昭和 18. 9.14	昭和 20.12.10
2	林 公平	29. 2. 5	35. 2. 4	20	柴田 重暉	19. 4.17	20.12.10
3	林 公平	35. 2. 5	41. 2. 4	21	濱井 信三	20.12.10	22. 3.26
4	山本 覚二	35. 3. 7	38. 5.16	22	山本 久雄	21. 8.27	22. 3.28
5	横山 亮一	38. 5.16	44. 4.29	23	大島 六七男	22. 8.30	26. 3.31
6	林 公平	41. 2. 5	大正 3. 2. 4	24	森澤 雄三	22. 9.10	25. 5. 1
7	小田 清	大正 4. 3.31	8. 3.30	25	奥田 達郎	22. 9.23	26. 6. 6
8	石井 淳雄	8. 8.11	12. 8. 6	26	高山 一三	26. 6.13	30. 6.12
9	佐野 賢作	13. 3. 3	昭和 3. 3.20	27	坂田 修一	26. 6.13	30. 4. 8
10	永井 貢	13. 3.19	大正 15. 6.12	28	佐々木 銃	30. 6.16	34. 6.15
11	伊藤 貞次	15.12.	昭和 5. 5.16	29	沖野 悟	30. 9.23	34. 5.11
12	佐野 賢作	昭和 3. 3. 3	7. 3. 2	30	加藤 政夫	34. 6.13	38. 4.19
13	奥 久登	7. 3.30	8.11.24	31	佐々木 銃	34. 6.16	38. 6.15
職務 管掌	溝辺 速雄	9. 3.18	10. 2.26	32	加藤 政夫	38. 6.15	42. 1.31
14	福田 五郎	10. 2.27	14. 2.26	33	佐々木 銃	38. 6.16	38. 9.27
15	岡 太 学	10. 2.	12. 8.	34	西村 敏男	38. 9.28	42. 9.27
16	中邑 元	12.11.12	16.11.11	35	坂田 修一	42. 6. 7	46. 6. 6
17	元山 修二	16.12.31	17. 3.25	36	長松 太郎	42.10. 9	46.10. 8
18	佐々木 忠夫	17. 9. 8	18. 9.14	37	坂田 修一	46. 6. 7	48. 8.31

(次ページへつづく)

歴代助役 (2/2表)

順次	氏名	就任年月日	退任年月日	順次	氏名	就任年月日	退任年月日
38	高橋 信雄	昭和 46.10.11	昭和 50.10.10	49	鍋岡 聖剛	平成 4. 4. 1	8. 3.31
39	津田 真行	48. 9.18	52. 7.23	50	山野 宏	4. 7. 1	9. 3.31
40	銀山 匡助	50.10.11	54.10.10	51	上川 孝明	8. 4. 1	11. 3.31
41	澤田 秀男	52. 9.21	56. 8.31	52	大田 晋	8. 7. 1	10.11.10
42	銀山 匡助	54.10.11	58. 3.31	53	荻原 達朗	9. 4. 1	11. 3.31
43	苔米地 行三	56. 9.17	58.10.31	54	森元 弘志	11.5.20	14. 3.14
44	松井 齋	58. 4. 1	62. 3.31	55	小田 治義	11.5.20	14. 3.31
45	岩井 彦二	59. 3.26	62. 7. 9	56	山田 康	14.7.27	18. 7.26
46	福島 隆義	62. 4. 1	平成 7. 3.31	57	三宅 吉彦	17.12.21	(現在)
47	椎名 彪	62. 7.10	2. 6.30	58	山田 康	18. 7.27	(現在)
48	下田 公一	平成 2. 7 .1	4. 6.30				

歴代収入役

代	氏名	就任年月	退任年月	代	氏名	就任年月	退任年月
1	早速 正夫	明治 22. 9	明治 27. 1	17・18	平井 憲太郎	昭和 36.10	昭和 44.10
2	坂村 真中	27. 1	33. 4	19	正田 四三男	45. 7	49. 7
3	横山 亮一	33. 4	38. 5	20・21	小林 整	49. 7	55. 5
4~6	栗屋 敏夫	38. 9	大正 10. 9	22	松井 齋	55. 5	58. 3
7	宗兼 徳	大正 13. 4	昭和 3. 4	23	西田 展康	58. 4	62. 3
8・9	黒川 房五郎	昭和 3. 4	11. 4	24・25	佐々木 眞二	62. 4	平成 5. 3
10	中邑 元	12. 7	12.11	26	石橋 正行	平成 5. 4	8. 3
11	土井 小市	12.11	14. 6	27	若狭 武治	8. 4	11. 5
12	佐々木 忠夫	15. 9	17. 5	28	伊藤 利彦	11. 5	15. 3
13	黒瀬 斉	20. 5	24. 5	29	松浦 洋二	15. 4	17. 6
14・15	台 寿治	24. 6	32. 6	30	黒川 浩明	17. 6	(現在)
16	宮川 造六	32.10	36.10				

歴代市議会議員

代	氏名	就任年月	退任年月	代	氏名	就任年月	退任年月
1	三木 達	明治 22. 6	明治 22. 8	37	秋田 正之	昭和 26. 5	昭和 27. 4
2	渡辺 又三郎	22. 9	23.10	38	永田 百太郎	27. 4	28. 7
3	桐原 恒三郎	23.10	28.12	39	池永 清真	28. 7	30. 5
4	岡 謙 蔵	29. 1	30.12	40	柴田 重暉	30. 6	31. 9
5	桐原 恒三郎	31. 1	35.12	41	伊藤 忠男	31. 9	32.10
6	尾形 武三郎	36. 1	36.12	42	任都栗 司	32.10	33. 7
7	山本 三朗	37. 1	37. 5	43	任都栗 司	33. 7	34. 5
8	岡崎 仁三郎	37. 6	38.12	44	木野 藤雄	34. 6	35. 7
9	森川 脩蔵	39. 1	39.12	45	宮本 正夫	35. 7	36. 9
10	山本 三朗	40. 1	42.12	46	杉村 政太郎	36. 9	37.10
11	森川 脩蔵	43. 1	43. 5	47	永田 百太郎	37.10	38. 5
12	早速 整爾	43. 6	44.12	48	堀江 守	38. 5	39. 7
13	横山 金太郎	45. 1	大正 2. 5	49	池永 清真	39. 7	42. 5
14	富島 暢夫	大正 2. 6	6. 5	50	浅尾 義光	42. 5	46. 5
15	山縣 齊高	6. 6	10. 5	51	浅尾 義光	46. 5	47. 7
16	植田 寿作	10. 8	12.10	52	宮本 正夫	47. 7	48. 7
17	岡田 才助	12.11	14. 5	53	池永 清真	48. 7	49. 7
18	森保 祐昌	14. 6	昭和 4. 5	54	浅尾 義光	49. 7	50. 5
19	加藤 俊夫	昭和 4. 8	6. 7	55	浅尾 義光	50. 5	52. 9
20	西村 栄蔵	6. 7	8. 5	56	宮本 正夫	52. 9	54. 5
21	松坂 義正	8. 6	11.12	57	八百 千頭夫	54. 5	58. 5
22	松坂 義正	11.12	12. 5	58	講元 英雄	58. 5	60. 7
23	森保 祐昌	12. 6	15. 3	59	明星 正明	60. 7	62. 5
24	安井 藤造	15. 3	15.11	60	柳 坪 進	62. 5	平成元. 6
25	勝盛 達之助	16. 2	17. 5	61	瀬川 吉郎	平成元. 6	3. 5
26	小畑 良助	17. 6	19. 9	62	永田 明	3. 5	4. 7
27	島 薫	20. 3	20. 5	63	中本 弘	4. 8	6. 9
28	山本 久雄	20. 6	21. 4	64	柳 坪 進	6. 9	7. 5
29	池永 清真	21. 5	21. 6	65	瀬川 吉郎	7. 5	8. 6
30	砂原 格	21. 7	22. 4	66	海徳 貢	8. 6	9. 7
31	寺田 豊	22. 5	23. 8	67	今田 智	9. 7	10. 6
32	伊藤 忠男	23. 8	23.11	68	中本 弘	10. 6	10.11
33	任都栗 司	23.11	24. 2	69	兼榊 栄二	10.12	11. 5
34	任都栗 司	24. 2	25. 2	70	平野 博昭	11. 5	15. 5
35	川本 精一	25. 2	25. 6	71	浅尾 宰正	15. 5	17. 7
36	砂原 格	25. 6	26. 4	72	藤田 博之	17. 7	(現 在)

歴代市議会副議長

代	氏名	就任年月	退任年月	代	氏名	就任年月	退任年月
1	桐原 恒三郎	明治 22. 6	明治 23.10	48	新関 貞夫	昭和 30. 6	昭和 31. 9
2	尾形 武三郎	23.10	23.12	49	浅尾 義光	31. 9	32.10
3	森川 脩蔵	24. 1	27.12	50	堀江 守	32.10	33. 7
4	高橋 忠親	28. 1	28. 5	51	増村 明一	34. 6	35. 7
5	山中 正雄	28. 6	28.12	52	杉村 政太郎	35. 7	36. 9
6	高橋 忠親	29. 1		53	波多野 秀男	36. 9	37.11
7	高野 一步	30. 1	30. 3	54	中野 博実	37.11	38. 5
8	森川 脩蔵	30. 3	30.12	55	田中 睦三	38. 5	39. 9
9	山中 正雄	31. 1	31.12	56	吉中 良雄	40. 3	41. 7
10	尾形 武三郎	32. 1	35.12	57	八百 千頭夫	41. 7	42. 5
11	林 十之助	36. 1	36. 9	58	中島 金平	42. 5	44. 7
12	岡崎 仁三郎	36. 9	36.12	59	松下 一男	44.10	45.10
13	山中 正雄	37. 1	37. 1	60	矢野 道男	45.10	46. 5
14	尾形 武三郎	37. 1	37. 2	61	谷本 正則	46. 5	47. 7
15	三戸 蔵之助	37. 2	38.	62	迫田 涉男	47. 7	48. 7
16	中野 庸介	39. 1	40. 5	63	明星 正明	48. 7	49. 7
17	八木 櫨	40. 6	40. 8	64	植田 二三	49. 7	50. 5
18	望月 俊吉	40. 8	41.12	65	講元 英雄	50. 5	51. 7
19	本明 貞蔵	42. 1	42.12	66	石崎 時夫	51. 7	52. 7
20	玉国 一郎二	43. 1	43. 5	67	上村 吉郎	52. 7	53.10
21	尾形 武三郎	43. 6	44.12	68	久保井 時雄	53.10	54. 5
22	三宅 兼一	45. 1	大正 2. 5	69	瀬川 吉郎	54. 5	58. 5
23	内田 哲郎	大正 2. 6	6. 6	70	倉本 保	58. 5	59. 7
24	森保 祐昌	6. 6	10. 5	71	中本 弘	59. 7	60. 7
25	岡田 才助	10. 8	12.11	72	柳坪 進	60. 7	61. 6
26	安宅 太郎	12.11	14. 5	73	永田 明	61. 6	62. 5
27	加藤 俊夫	14. 6	昭和 4. 5	74	米田 十郎	62. 5	63. 7
28	松坂 義正	昭和 4. 8	6. 7	75	竹永 勇	63. 7	平元. 6
29	角森 好蔵	6. 7	8. 5	76	元田 猛	平元. 6	2. 6
30	村井 林市	8. 6	9. 6	77	今田 智	2. 6	3. 5
31	甲口 亮三	10. 2		78	山本 誠	3. 5	4. 8
32	安井 藤造	11.12	12. 5	79	海徳 貢	4. 8	5. 9
33	井上 博	12. 6	13. 3	80	増田 正昭	5. 9	6. 9
34	西本 寿一	13. 6	14.12	81	神明 政三	6. 9	7. 5
35	牛尾 孟	15. 2	17. 5	82	兼榭 栄二	7. 5	8. 6
36	角 和 雄	17. 6	18. 9	83	山科 美里	8. 6	8.10
37	島本 秀吉	19. 3	20. 8	84	木島 丘	8.10	9. 7
38	川本 泉	20. 9	22. 4	85	浅尾 宰正	9. 7	10. 6
39	山木 茂	22. 5	23. 8	86	松浦 弘典	10. 6	11. 5
40	土岡 喜代一	23. 8	24. 4	87	伊藤 稻造	11. 5	12. 7
41	村上 源次郎	24. 4	25. 2	88	鶴見 和夫	12. 7	13. 6
42	吉本 寿一	25. 2	25. 6	89	種清 和夫	13. 6	14. 7
43	宮本 正夫	25. 6	26. 4	90	戸田 満	14. 7	15. 5
44	猪原 光夫	26. 5	27. 6	91	月村 俊雄	15. 5	16. 6
45	菊崎 正行	27. 6	27.12	92	谷川 正徳	16. 6	17. 7
46	伊藤 忠男	28. 3	28. 6	93	碓井 法明	17. 7	18. 6
47	松谷 徳市	28. 7	30. 5	94	下向井 敏	18. 6	(現在)

姉妹・友好都市

位置図（姉妹・友好都市）

都 市 名 (国 名)	提 携 年 月 日
ホノルル市 (アメリカ合衆国)	昭和34年(1959年) 6月15日
ボルゴグラード市 (ロシア連邦)	昭和47年(1972年) 9月28日
ハノーバー市 (ドイツ連邦共和国)	昭和58年(1983年) 6月27日
重 慶 市 (中華人民共和国)	昭和61年(1986年)10月23日
大邱広域市 (大韓民国)	平成9年(1997年) 5月2日
モントリオール市 (カナダ)	平成10年(1998年) 6月4日
長 崎 市 (日 本)	昭和50年(1975年) 8月5日



資料 秘書課，国際平和推進部

主要観光地

名 称	見 どころ
(市街地・瀬戸内海の展望) 比 治 山 公 園	市内及び瀬戸内海を一望できる。春は花見に最適。入り口には頼山陽文徳殿、多聞院が、園内には現代美術館、まんが図書館があり、歴史や芸術のかおりにつつまれています。
黄 金 山 公 園	標高221mの山頂からの展望はすばらしく、市内及び瀬戸内海を一望できる。山頂までドライブできます。
元 宇 品 公 園	港に出入りする船や灯台がよく見えます。安芸の小富士（似島）や宮島の眺めはすばらしく、海岸の散策も楽しいです。
(公園・緑地) 平 和 記 念 公 園	市の中心にあり、二つの川にはさまれた三角地帯の広大な公園。園内には、世界遺産原爆ドームや原爆死没者慰霊碑、広島平和記念資料館などがあります。
中 央 公 園	面積約42haの広大な公園。園内には、広島城、中国庭園、プール、市民球場、図書館、美術館などがあり、総合的な憩いの場として親しまれています。
平 和 大 通 り	市の中心部を東西に延びる幅100mの道路。全国から寄せられた樹木が茂り、数々の原爆慰霊碑があります。
河 岸 緑 地	猿猴川、京橋川、元安川、本川、天満川の河岸緑地は散策路として整備されており、憩いの場として親しまれています。元安川の河岸には「灯和の径」を整備し、広島から平和のメッセージを発信しています。
(ショッピング) 広 島 駅 南 口 周 辺	ひろしま駅ビルアッセや広島駅南口の再開発事業として建設されたエールエールなど、広島のエール口として充実をみせています。
八 丁 堀 ・ 金 座 街	デパートが建ち並び周辺のショッピング街と併せ、大変にぎわっています。
紙 屋 町	バスセンター、デパート、専門店街、ホテルが入った大型複合ビルを中心に紙屋町タウンとしてにぎわいをみせています。また、平成13年春には、紙屋町地下街「シャレオ」がオープンしました。
本 通 り	八丁堀から紙屋町を結ぶ歩行者専用のアーケード街。個性豊かな専門店が並び、ゆっくりショッピングが楽しめます。
並 木 通 り	しゃれたブティック、レストラン、画廊などが並び、ファッションブルで個性的な街として若者に人気があります。
ア ル パ ー ク	ショッピングはもちろんのこと、レストランや映画館、スポーツクラブなど大人から子どもまで楽しめます。

資料：都市活性化局観光交流部



原爆ドーム



広島城

主要観光施設

名 称	所 在 地	電 話 番 号
広島平和記念資料館	中区中島町1 - 2	(082) 241 - 4004
国立広島原爆死没者追悼平和祈念館	中区中島町1 - 6	(082) 543 - 6271
広島城	中区基町21 - 1	(082) 221 - 7512
縮景園	中区上幟町2 - 11	(082) 221 - 3620
ひろしま美術館	中区基町3 - 2	(082) 223 - 2530
広島市現代美術館	南区比治山公園1 - 1	(082) 264 - 1121
広島県立美術館	中区上幟町2 - 22	(082) 221 - 6246
広島市安佐動物公園	安佐北区安佐町動物園	(082) 838 - 1111
広島市植物公園	佐伯区倉重3 - 495	(082) 922 - 3600
広島市森林公園	東区福田町字藤ヶ丸173	(082) 899 - 8241
花みどり公園	安佐北区安佐町大字久地2411 - 1	(082) 837 - 1247
広島市健康づくりセンター健康科学館	中区千田町3 - 8 - 6	(082) 246 - 9100
広島市こども文化科学館	中区基町5 - 83	(082) 222 - 5346
広島市映像文化ライブラリー	中区基町3 - 1	(082) 223 - 3525
広島市郷土資料館	南区宇品御幸2 - 6 - 20	(082) 253 - 6771
広島市江波山気象館	中区江波南1 - 40 - 1	(082) 231 - 0177
広島市交通科学館	安佐南区長楽寺2 - 12 - 2	(082) 878 - 6211
ガラスの里	安佐北区大林2 - 12 - 55	(082) 818 - 0414
頼山陽史跡資料館	中区袋町5 - 15	(082) 542 - 7022

資料：都市活性化局観光交流部

観光案内所

名 称	所 在 地	電 話 番 号
平和記念公園レストハウス観光案内所	中区中島町1 - 1 (平和記念公園レストハウス内)	(082) 247 - 6738
広島駅観光案内所	南区松原町2 - 37 (広島駅構内)	(082) 261 - 1877

資料：都市活性化局観光交流部

広島土産

品名	説 明
かき	広島を代表する味です。厳冬のころの味は格別で、カキフライやどて鍋、かき飯などいろいろな味を楽しめます。化粧箱入りで土産にもなります。
清酒	きれいな水と長い伝統にはぐくまれてつくられる広島の酒は定評があります。酔心地のよさと舌ざわりのよさは逸品です。
広島菜漬	名産「広島菜」を漬物にしたもので、たる詰めが全国各地へ出荷され、土産品としても喜ばれます。
菓子類	川通餅（もち米にクルミをまぜた一口餅）、もみじ饅頭（もみじの形をしたあん入り饅頭）、柿羊かん（柿の味をふだんに盛った独特な羊かん）などがあります。
お好み焼き・ソース	広島お好み焼きを真空パックしたものです。また、これに使われるソースはとろりとした粘りが持ち味の広島のオリジナルです。
でびら	がんぞうひらめを干したもので、木づちでたたいてあぶり、しょう油で食べる瀬戸内海の代表的な名物です。
工芸品	銅ちゅう製品及び平和を表現した民芸品などがあります。
山ぶく	こんにやくを刺身にした湯来を代表する味です。土産品としても喜ばれています。



広島土産

資料：都市活性化局観光交流部

年中行事

行事名	開催日・期間	場 所
全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	1月中旬	平和記念公園～宮島口～平和記念公園
護国神社春季例大祭	4月第2日曜日	護国神社・広島城跡一帯
ひろしまフラワーフェスティバル	5月3～5日	平和大通り・平和記念公園
元安川オープンカフェ	4月～11月上旬	元安川河岸緑地帯
高松山大文字祭	5月最終土・日曜日	可部町高松山
広島県西部神楽競演大会	5月中旬日曜日	湯来体育館
稲荷山（とうかさん）	6月第1金曜日～始まる3日間	三川町円隆寺・中央通り一帯
ゆかたできん祭	〃	市内中心部一帯
住吉祭	旧6月14～15日	住吉神社
江波の火祭り	旧6月29日	江波漁港一帯
湯来ホテルまつり	6月下旬	湯来温泉街
七夕まつり	7月1日～10日	市内各商店街
広島みなと夢花火大会	7月第4土曜日	広島港一帯
平和記念式典	8月6日	平和記念公園
ピースメッセージ・とうろう流し	8月6日	市内各河川
護国神社秋季例大祭	10月第3日曜日	護国神社・広島城跡一帯
広島城大菊花展	10月下旬～11月中旬	広島城
亥の子祭	11月	市内一円
湯来ふるさとまつり	11月上旬	湯来体育館
広島国際平和マラソン	11月3日	広島スタジアム～西区商工センター
胡子大祭（胡子講・えべっさん）	11月18日～20日	胡子神社及び本通り・胡町一帯
ひろしまドリミネーション	11月中旬～1月初旬	平和大通り・市内中心部

資料：都市活性化局観光交流部



## 郷土史

年号・西暦	で き ご と
紀元前3世紀ごろ	比治山・中山・牛田等に貝塚生成。
宝亀11年 780年	牛田荘が大和国西大寺の荘園としての記録あり。
応安 4 1371	今川了俊が九州探題赴任の途中、干潮時の砂州を徒渉(9月)。
応永 4 1397	五ヶ浦の地名が文書に見え、人が住み始めている(厳島神社文書)。
天文10 1541	安芸国の守護銀山城の武田氏、大内氏に攻められ滅亡(5月)。
弘治 1 1555	厳島合戦で毛利元就西国制覇(10月)。
天正17 1589	毛利輝元が五ヶ(五ヶ村)に築城着手、この地を「広島」と命名(4月)。
19 1591	広島城完成し輝元は吉田の郡山城から入城(1月)。
慶長 5 1600	関ヶ原の戦により輝元は防長2か国に削封(10月)。
6 1601	福島正則広島城に入城(3月)。
元和 5 1619	城修築の責で正則は信濃国川中島に改易(6月)、和歌山から浅野長晟入城(8月)。
承応 2 1653	大暴風雨と洪水で死者多数(8月)。
寛分 1 1661	段原・皆実・吉島新開の地詰めを行う(6月)。
宝暦 8 1758	大手町から出火し、元安川以東の城下町の大部分焼失(4月)。
天明 3 1783	この年気候不順で凶作のため飢民多し。
文政 8 1825	芸藩通志の稿本完成(8月)、その資料知新集は文政5年に稿本完成。
元治 1 1864	} 二度にわたり長州役、広島城下に幕軍終結。
慶応 2 1866	
明治 2 1869	版籍奉還、旧藩主浅野長勲藩知事に任ぜられる(6月)。
5 1872	前年の廃藩置県に続き、広島は第一大区となる(4月)。
6 1873	広島に鎮台を置き、第五軍管広島鎮台と称する(1月)。
11 1878	郡区町村編制法を施行し、広島区となる(11月)。
17 1884	宇品築港工事に着工する(9月)。
22 1889	市制施行(4月)、人口83,387人。市役所(中島新町)開庁(9月)。宇品築港工事終わり(11月)、翌年4月落成式。
27 1894	糸崎・広島間の山陽鉄道開通(6月)。大本営を広島に設置(9月～翌年4月)、帝国議会も開会される。市内に電灯ともる(10月)。
32 1899	広島市上水道が陸軍諸官衛及び市内一般に給水開始(1月)。
33 1900	広島郵便電信局内に電話交換局を設置(9月)、翌年2月交換開始。
35 1902	広島高等師範学校設置(4月)。
37 1904	安芸郡仁保島村字宇品島を広島市に編入(9月)。
38 1905	安佐郡三篠村と同郡可部町間に、乗合自動車開通(2月)。
42 1909	広島瓦斯株式会社創立(10月)、翌年10月供給開始。
大正 1 1912	市内に電気軌道を敷設し、電車の運転を開始(11月)。
4 1915	芸備鉄道広島・三次間開通(6月)。
7 1918	全国的な米騒動が広島市にも波及し軍隊出動鎮圧(8月)。
昭和 3 1928	市役所新庁舎国泰寺町に竣工(4月)。広島中央放送局開局(7月)。
4 1929	安芸郡牛田村等隣接7か町村を広島市に合併(4月)。広島文理科大学創立(4月)。
7 1932	宇品港を広島港と改称(12月)、翌年商業港修築起工(6月)。
15 1940	広島工業港建設工事起工(11月)。

年号・西暦		で き ご と
昭和20年	1945年	8月6日午前8時15分原子爆弾により広島市は壊滅。
24	1949	広島大学設置(5月)。「広島平和記念都市建設法」が公布(8月)。
30	1955	安芸郡戸坂村を広島市に合併(4月)。
31	1956	安芸郡中山村(4月)、佐伯郡井口村(11月)を広島市に合併。
32	1957	広島市民球場完成(7月)。
33	1958	市総合企画本部、近郊12町を包括する「大広島構想」を発表(8月)。
34	1959	米国・ハワイ州ホノルル市と姉妹都市縁組(6月)。
36	1961	広島空港開港(9月)。
38	1963	浅野長武国立博物館長、佐藤信安元広島市長、森戸辰男前広島大学長の3氏に広島市初の名誉市民の称号を贈る(12月)。
39	1964	人口50万人に達する(4月)。広島・小郡間電化完成に伴う国鉄山陽本線全線電化開通(10月)。
40	1965	太田川放水路通水(5月)。広島民衆駅完成(12月)。
41	1966	新広島国道開通(12月)。
42	1967	原爆ドーム保存工事が完成(8月)。
43	1968	被爆者特別措置法が公布(5月)。
44	1969	広島都市圏の交通網計画まとまる(8月)。市総合計画審議会「広島市基本計画」を答申(11月)。
45	1970	広島市基本構想が議決される(3月)。山田市長が原爆死没者慰霊碑の碑文を変更しない旨を表明(8月)。
46	1971	安佐郡沼田町(4月)、同郡安佐町(5月)の両町を広島市に合併。昭和天皇・皇后両陛下が広島へ行幸啓(4月)。
47	1972	安佐郡可部町(4月)、同郡祇園町(8月)の両町を広島市に合併。ソ連・ボルゴグラード市と姉妹都市縁組(9月)。
48	1973	安佐郡安古市町・佐東町・高陽町・安芸郡瀬野川町(3月)、高田郡白木町(10月)の5町を広島市に合併。
49	1974	市立中央図書館、広島バスセンターオープン(10月)。安芸郡熊野跡村・安芸町を広島市に合併(11月)。
50	1975	安芸郡矢野町・船越町を広島市に合併。山陽新幹線岡山・博多間が開通(3月)。長崎市と姉妹都市縁組(8月)。広島東洋カーブが初優勝(10月)。
51	1976	財団法人広島平和文化センターが発足(4月)。荒木市長らが国連訪問(12月)。
52	1977	第1回ひろしまフラワーフェスティバルを開催(5月)。
53	1978	広島市基本構想(改定)が議決される(3月)。国連軍縮特別会議に荒木市長が列席、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催(5月)。市総合計画審議会「広島市新基本計画」を答申(9月)。「国連軍縮週間」で原爆被害写真展・講演会等を実施(10月)。
54	1979	広島市の55年4月政令指定都市移行を閣議決定(8月)。同政令公布(9月)。
55	1980	政令指定都市広島誕生、7区役所開所(4月)。
56	1981	ローマ法王来広、平和記念公園から全世界へ向けて平和アピールを発表(2月)。広島市の人口90万人を超える(8月)。
57	1982	西部開発事業竣工式(3月)。荒木市長、国連軍縮特別総会で核兵器の廃絶を訴える(6月)。住民基本台帳のオンライン処理開始(11月)。
58	1983	西独新聞記者がホームビジット家庭訪問(制度第1号)(1月)。西独・ハノーバー市と姉妹都市縁組(6月)。第17回日米市長及び商工会議所会頭会議を開催(11月)。21世紀ひろしまビジョン会議が「ひろしま21世紀への前進」を提言(12月)。

年号・西暦		できごと
昭和59年	1984年	ハノーパーフェストを開催(2月)。国際交流協会を設立(10月)。都市政策フォーラムを開催(8月)。
60	1985	佐伯郡五日市町を広島市に合併、人口100万人を超える。新「広島平和都市記念碑」が完成(3月)。85ワールドカップマラソン広島大会を開催(4月)。広島市新本庁舎が完成(6月)。第1回世界平和連帯都市市長会議を開催。第1回国際アニメーションフェスティバル広島大会を開催(8月)。
61	1986	第14回アジア消防長協会総会を開催(5月)。平和シンポジウムを開催(6月)。86平和サミットinヒロシマ、平和コンサートを開催(8月)。日本文化デザイン会議を開催(10月)。中国・重慶市と友好都市提携に調印(10月)。国際駅伝広島大会を開催(11月)。
62	1987	山陽自動車道(廿日市インター～五日市インター間)が開通(2月)。世界蘭会議広島大会を開催。山陽自動車道(志和インター～広島東インター間)が開通(3月)。工業技術センター開館(5月)。防災行政無線が開局(6月)。ジャーナリスト国際平和シンポジウムを開催(8月)。不動産の“昭和の大修理”が終わる(11月)。
63	1988	祇園新道が開通(暫定)。山陽自動車道(広島東インター～広島インター間)が開通(3月)。在広留学生に対する奨学金制度を創設(4月)。広島市の新しい基本構想が議決される(10月)。山陽自動車道(広島インター～広島ジャンクション間)が開通(12月)。
平成元年	1989	消防通信司令官制システムの運用開始。広島城築城400年記念式典。広島港築港100周年記念式典を開催(4月)。現代美術館が開館。第3次広島市基本計画を策定(5月)。広島国際会議場が開館。広島市制施行100周年・築城400年記念式典を開催(7月)。89海と島の博覧会・ひろしまを開催(7月～10月)。第2回世界平和連帯都市市長会議を開催。JR山陽本線中野東駅が開業(8月)。健康づくりセンターが開館(9月)。森林公園が開園(11月)。
2	1990	原爆ドーム保存工事が完了(3月)。消防航空隊が発足、消防ヘリコプターを導入(4月)。
3	1991	アステールプラザが開館(1月)。新交通システム橋げた落下事故が発生(3月)。世界平和連帯都市市長会議が国連憲章に基づくNGO(非政府機関)として認定される(5月)。国際定期航空路線広島ソウル線が開設(6月)。広島ビッグウェーブ(総合屋内プール)が開館(8月)。台風19号大きな被害もたらず(9月)。広島広域公園第一球技場が完成(10月)。中国横断自動車道広島浜田線が全線開通(12月)。
4	1992	安佐北区スポーツセンターが開館(3月)。新食肉市場が開場(4月)。江波山気象館が開館。広島港が特定重要港湾に昇格。国連軍縮広島会議を開催(6月)。広島原爆養護ホーム倉掛のぞみ園が開所(7月)。広島ビッグアーチ(広島広域公園陸上競技場)が完成。第10回アジアカップサッカー選手権決勝大会が開かれる(10月)。
5	1993	比治山トンネル開通(1月)。花みどり公園を開園(4月)。高齢者・障害者のバス・電車などの利用助成制度を開始。救急救命士養成所を開所(9月)。広島城跡堀川浄化事業完成。広島空港(豊田郡本郷町)、広島西飛行場が開港(10月)。國前寺本堂、庫裏が国の重要文化財に指定される(11月)。
6	1994	被爆50周年記念事業基本計画発表(1月)。広島市中央駐車場オープン(2月)。広島市立大学開学(4月)。平和記念館東館オープン(6月)。アストラムライン開業(8月)。広島広域公園完成(9月)。第12回アジア競技大会開催(10月)。
7	1995	交通科学館が安佐南区長楽寺にオープン(3月)。原爆ドームが文化財保護法の史跡に指定される。被爆50周年平和記念式典開催(8月)。広島市長、オランダ・ハーグの国際司法裁判所で核兵器の違法性について口頭陳述(11月)。

年号・西暦	で き ご と
平成 8 年 1996年	第 1 回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(ひろしま男子駅伝)開催(1月)。第1回フードフェスタ広島開催(2月)。広島市ひと・まちネットワーク設立。佐伯運動公園オープン(4月)。ひろしま国体夏季大会開催(9月)。個人情報保護条例施行。ひろしま国体秋季大会開催。おりづる大会ひろしま開催(10月)。原爆ドームの世界遺産一覧表への登録が決定(12月)。
9 1997	大河ドラマ「毛利元就」博開催(3月)。西部リサイクルプラザオープン(4月)。まんが図書館オープン。韓国・大邱広域市と姉妹都市提携に調印。原爆展「ヒロシマ展」を海外で初めてスペイン・バルセロナ市で開催(5月)。第14回全国都市緑化ひろしまフェア「グリーンフェスタひろしま 97」開催(9月)。
10 1998	舟入病院新館オープン(3月)。西区に市内最初の「地域福祉センター」設置。市立大学に広島平和研究所を開設(4月)。カナダ・モントリオール市と姉妹都市提携に調印(5月)。新しい基本構想を策定(6月)。安佐動物公園で死後精子を使ったチンパンジーの出産に世界で初めて成功(7月)。
11 1999	広島駅南口Aブロック再開発ビル「エールエールA館」オープン(4月)。集中豪雨により大きな被害が発生(6月)。広島ゆかた祭り開催(7月)。世界音楽祭“オーガスト・イン・ヒロシマ 99”開催(8月)。第4次広島市基本計画策定(11月)。
12 2000	建て替えられる袋町小学校の壁面に新たな被爆伝言が見つかる。広島高速3号線(広島南道路)一部開通。都市計画道路・鷹野橋宇品線開通(3月)。南区役所別館オープン(6月)。九州・沖縄サミットに合わせヒロシマ・ナガサキ原爆展開催(糸満市、沖縄市)。旧日本銀行広島支店・市重要文化財に指定、無償貸与を受ける(7月)。ヒロシマ・ナガサキ原爆展開催 米国/サンタバーバラ市、マフリーズボロ市、オーストリア/ウィーン市(9・10月)第15回国民文化祭・ひろしま2000開催(11月)。
13 2001	安芸区民文化センターオープン。芸予地震発生(3月)。広島西飛行場通勤用ジェット機就航。留学生会館オープン。紙屋町地下街「シャレオ」開業。韓国の大邱広域市長・文熹甲氏に特別名誉市民の称号を贈呈(5月)。広島西風新都インタ チェンジ開通。灯和の径完成(7月)。第5回平和連帯都市市長会議。広島はつかいち大橋開通(8月)。金座街地区第6街区市街地再開発ビル「パルコ新館」オープン。植物公園でベゴニアの新品種開発(9月)。広島高速4号線(広島西風新都線)開通。2001ねんりんピック広島開催。安佐北工場国際規格ISO14001取得(10月)。「広島之歌」決定。暴走族対策推進本部設置(11月)。安芸市民病院開設(12月)。
14 2002	下水道の普及率が90%に達する(3月)。暴走族追放条例施行。袋町小学校平和資料館が開館(4月)。まちづくり市民交流プラザオープン(5月)。国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が開館(8月)。スポレク広島2002開催。広島国際フェリーポート完成(10月)。ゴミの減量化のため、毎月1日を買い物袋持参デーに指定(11月)。ライトアップ「ひろしまドリミネーション」開催(12月)。
15 2003	中高一貫教育校市立安佐北中学校が開校(4月)。旧日銀広島支店を市民主体の芸術・文化活動発表の場として活用することを決定(6月)。江波山気象館で独自の天気予報を開始。太田川花火大会を統合し、広島みなと夢花火大会を開催(7月)。安佐市民病院小児科の日曜夜間(診療受付時間：午後6時～10時)救急診療を開始。住民基本台帳ネットワークシステム本格稼働。住民票の写しの広域交付など新サービス開始(8月)。市立のすべての学校・幼稚園で敷地内の全面禁煙を実施(9月)。国道2号西広島バイパス観音高架橋が開通(10月)。可部線廃止後の代替交通機関として乗合バスが運行開始(12月)。
16 2004	ばい捨て等の防止に関する条例の罰則がスタート。西部子ども療育センター開設(1月)。最新の処理設備とゴミ発電施設が備わった中工場が稼働。JR横川駅広場の再整備が完了(3月)。家庭ゴミ8種類分別を開始。広島市・湯来町合併研究協議会を設置。行政改革計画・財政健全化計画公表(4月)。大手町市街地再開発ビルが完成(6月)。第1回日米都市サミット広島2004開催(11月)。

## 主な市政日誌(平成17年4月～18年12月)

### 平成17年4月

- 1日 電子入札を開始。インターネットを利用し、より透明・公正な入札に。
- 21日 企業立地促進補助制度を創設。
- 25日 湯来町と合併。  
年中無休の便利電話「おしえてコールひろしま」開設。
- 26日 市長が非核地帯条約締約国会議(メキシコシティ)に出席。
- 29日 植物公園の入園者が700万人を突破(1976年開園)。

### 5月

- 1日 防災情報メール配信システム開始。
- 2日 NPT(核不拡散条約)再検討会議がニューヨーク市・国連本部で開催(27日まで)。
- 3日 29回目を迎えたフラワーフェスティバルに約162万人の入場。今年は新たに広島城も会場に(5月3日～5日開催)。
- 11日 郷土資料館が開館20周年。
- 12日 北朝鮮の使用済み核燃料棒の取出に対する抗議文を送付。
- 16日 西区の広島サンプラザ内、広島ワークサテライトに若者就職相談窓口を開設。

### 6月

- 3日 おりづる平和リレー始まる。
- 10日 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画をまとめる。
- 12日 市議会佐伯区湯来選挙区増員選挙。

### 7月

- 4日 公の施設に、住民サービスの向上と経費節減などを目的とする指定管理者制度を来年4月1日から導入するため、条例を改正。
- 15日 交通ビジョン推進プログラムで121の具体的な取り組みをまとめる。
- 22日 第6回ヒロシマ賞授賞式。受賞者はシリ・ネシャット氏。

- 23日 バグウォッシュ会議開催。約40カ国170人の科学者等が、核兵器の廃絶に取り組む(27日まで)。
- 26日 原爆慰霊碑の碑文が傷つけられる。
- 30日 平和の門が平和大通りに完成。

### 8月

- 4日 平和市長会議総会開催(6日まで)。
- 6日 平和記念式典。夜は平和記念公園の芝生広場を開放し、平和コンサートを開催。
- 24日 平和記念資料館が開館50周年。
- 25日 米国・セントポール市で原爆展を開催(9月15日まで)。

### 9月

- 4日 ひろしま八区覧会・八区物館開幕。西区横川などでオープニングイベントを開催(佐伯区は春に一部開催)。
- 5日 パリ市庁舎で原爆展を開催(10月4日まで)。
- 6日 台風14号が多大な被害をもたらす。市アスベスト対策推進本部を設置。
- 14日 日本オリンピック委員会(JOC)とパートナー都市協定を結ぶ。
- 16日 新球場をヤード跡地に建設する基本方針を公表。
- 17日 市長がフランス、イタリアを訪問。パリ市庁舎での原爆展開催記念式典への出席など(26日まで)。
- 22日 初のノーマイカーデー(23日まで)。市危機管理推進会議を設置。北米への定期貨物航路の開設。

### 10月

- 1日 事業ゴミ有料指定袋制度を導入。「ファミリー・サポート・センター」と「つどいの広場」を健康科学館に開設し、子育て家庭を支援。発達障害者支援センターを、こども療育センター内に開設。第18回国勢調査実施。

#### 10月

- 11日 市長が中国・重慶市を訪問。アジア・太平洋都市サミットへ出席、自動車関連企業の技術力のトップセールスなど（15日まで）。
- 15日 ひろしまフードフェスティバルを開催。広島城秋まつりとフードフェスタ広島を統合（16日まで）。
- 20日 京橋川沿いにオープンカフェが開店。河岸緑地では全国初の常設型。

#### 11月

- 4日 東区若草町地区再開発の施行予定者を選定。
- 6日 広島県知事選挙。
- 24日 傷つけられた原爆慰霊碑の本格的な修復に向けて調査を実施。
- 30日 在外被爆者の原爆手当等の申請を在外公館経由で受付開始。

#### 12月

- 3日 港湾倉庫を活用した商業施設が南区宇品1万トンパース隣りに開店。
- 7日 市子どもの安全対策推進本部を設置。
- 16日 グラウンドエンジェル・イン・ヒロシマを開催（25日まで）。

#### 平成18年1月

- 15日 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」を開設。町内会など地域のホームページ作りを支援。

#### 3月

- 1日 太田川流域のサイレンを活用し、災害時の避難勧告などを知らせるための協定を国と結ぶ（6月1日に八幡川流域での協定を県と結ぶ）。中途障害者などの社会復帰を支援する総合リハビリテーションセンター（仮称）の建設工事に着工。
- 2日 JR可部線廃線敷の利活用の方針をまとめる。
- 31日 食料・農業・農村ビジョンを策定。今後10年間の農業施策の基本的な方向などを盛り込む。

#### 4月

- 1日 公の施設のうち、文化・スポーツ施設など579施設に指定管理者制度を導入。市民サービスの向上や経費節減などが目的。地域包括支援センターを市内41カ所に開設。介護予防プランの作成や相談などを実施。
- 27日 段原再開発事業西部地区の完成式を実施。

#### 5月

- 1日 定年退職した農家出身者を野菜の生産・販売農家として育成する「ふるさと帰農支援事業」の募集を開始。
- 3日 30回目のフラワーフェスティバル、約165万人が楽しむ（5月5日まで）。
- 8日 広島市民病院に新しく東棟が完成し、診療を開始。関連する診療科の隣接配置やがん治療機能の強化など高度・専門医療に対応。
- 21日 広島市・重慶市友好都市提携20周年記念式典を開催。文化・経済交流など。（10月23日に広島市から友好訪問団190人が重慶市を親善訪問）

## 6 月

- 1日 住宅用火災警報器の設置を条例で義務化。
- 5日 広島市子育て支援対策推進本部を設置。
- 14日 広島市民球場跡地利用検討会議から、跡地利用の方向性の報告を受ける。民間事業者からの提案26件の中から11件を選定。
- 27日 第1回男女共同参画推進事業所として2団体を表彰。

## 7 月

- 5日 広島平和記念資料館の本館が国の重要文化財に指定される。戦後建築物では初。

## 8 月

- 19日 バスケットボール世界選手権を広島で初の開催（8月24日まで）。
- 24日 第11回広島国際アニメーションフェスティバル、約3万1千人でにぎわう（8月28日まで）。
- 28日 中央公園ファミリープールの総入園者数、500万人を達成。
- 29日 業務委託等の入札・契約制度の改善策を公表（11月から不当介入排除や予定価格事前公表などの制度を導入し、順次拡大）。

## 9 月

- 1日 市職員が地域に出向き、市の施策や事業を説明する「市政出前講座」を全庁的に拡充。
- 15日 住宅の耐震診断費用を一部助成する制度を設ける。
- 17日 太田川デルタの川をテーマにした「川のうた」を審査。最優秀賞に小田貴音（たかね）さんの「流れとともに」。

## 10月

- 1日 障害者の移動支援など、障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業を開始。
- 10日 消費生活条例を公布。
- 16日 広島高速1号線（安芸府中道路）全線開通。

## 11月

- 2日 広島大学本部跡地（中区東千田町）での「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト（仮称）」の実現に向け、民間事業者の募集を開始（19年1月19日まで）。
- 3日 植物公園開園30周年。
- 7日 都市計画道路見直しの基本方針を策定。計画から20年以上事業に着手していない路線などを対象に必要性の検証に着手。
- 16日 「ひろしま型義務教育創造特区」が国に認定される。小5から中3までの「言語・数理運用科」、小5からの「英語科」の導入などを盛り込む。
- 17日 平和記念公園が国の名勝に選ばれる。戦後に整備された公園では初。

## 12月

- 25日 広島市民病院で救急診療を開始。

# 索引

## い

位置・地勢・地質	4
一般雇用保険	92
一般職業紹介	92
医療施設	84

## お

主な市政日誌	142
--------	-----

## か

各区の概要	9
各種学校	72
火災	112
家事審判事件	108
家事調停事件	109
河川・公園	51
観光・レクリエーション	81
観光案内所	136

## き

気象	12
救急・救助	112
行政区別人口	19

共同募金	93
郷土史	138
漁業経営体・漁獲量	32
勤労者世帯の家計収支	97

## け

経済活動別市内総生産	115
刑事事件	107
下水道	68
原子爆弾による被害	85
県税	101
原爆死没者の慰霊	86

## こ

公共工事	52
工業の規模	37
工業の業種	34
工業の推移	34
工業の分布	36
航空	61
合計特殊出生率	18
鉱工業生産指数	38
交通事故	111
高等学校	71
国税	101
婚姻・離婚	83



## さ

サービス業	43
産業別就業者数	24
産業別分布（事業所）	28
産業別分布（商業）	41

## し

死因別死亡	83
市街化区域及び市街化調整区域	47
市街地開発事業	48
事業所の推移	26
事業所の分布	26
市税	101
自然災害	113
自動車台数	61
市内総支出	117
姉妹・友好都市	135
市民球場	82
市民所得（分配）	116
仕向地別輸出額	44
社会教育施設	74
住宅	53
出生・死亡	83
主要観光施設	136
主要観光地	135
主要選挙の状況	103
小学校	70
商業の推移	39
商業の分布	40
少年保護事件	110
消費者物価指数	94
消費者物価地域差指数	95

人口・世帯	15
人口動態	17
人口の推移	15
森林資源	31
森林面積	32

## す

水産加工品生産量	33
水産業の概況	32
水道	66

## せ

世帯構成	25
専修学校	72
全世界の消費支出	96
船舶	63

## そ

卒業者の進路	73
--------	----

## た

大学	71
大都市の人口	18
第4次広島市基本計画の体系	125

## ち

地域地区	48
地区計画	49
着工建築物	51
着工新設住宅	54
中央卸売市場	99
中央公園ファミリープール	82
中学校	70
賃金	89

## つ

通信	64
----	----

## て

手形交換	45
鉄軌道	57
電灯・電力	65

## と

道路・橋りょう	50
道路交通量	61
都市ガス	65
都市計画区域	47
都市施設	49
図書館	73

## に

日本銀行券	46
日本経済の概況	114
認定被爆者	87

## ね

年中行事	137
年齢階級別人口	21
年齢別死亡・死因	83

## の

農業の推移	29
農業の分布	29
農畜林産物生産額	30

## は

配偶関係別人口	21
バス	57

## ひ

被爆者健康手帳	87
百貨店	42
日雇職業紹介	92
病院	85
広島港	55
広島港の貿易	44
広島市基本構想	119
広島市経済の概況	115
広島の世界史	1
広島土産	137

## ふ

風俗営業等の許可業者	111
文化財	74

## み

民事・行政事件	107
---------	-----

## め

面積	7
----	---

## も

盲・ろう・養護学校	72
-----------	----

## ゆ

有権者	102
郵便施設	64
輸出額	44

## よ

幼稚園	70
預金及び貸出	45

## り

林家	30
----	----

## れ

歴代市議会議長	133
歴代市議会副議長	134
歴代収入役	132
歴代助役	131
歴代広島市長	131

## ろ

労働組合	91
労働争議	90
労働力人口	21

市勢要覧 写真提供リスト（敬称略,掲載順）

	掲載場所	提供元
市の木	グラビア	企画調整部
市の花	グラビア	企画調整部
市長	グラビア	企画総務局秘書課
助役	グラビア	企画総務局秘書課
収入役	グラビア	会計室
議長	グラビア	議会事務局秘書室
副議長	グラビア	議会事務局秘書室
原爆の子の像	グラビア	企画調整部
かきいかだの風景	P. 33	(財)広島観光コンベンションビューロー
かき打ち	P. 33	(財)広島観光コンベンションビューロー
日本銀行広島支店	P. 46	企画調整部
アストラムライン	P. 60	道路交通局都市交通部
高陽浄水場	P. 67	水道局
西部浄化センター（東系）	P. 69	下水道局
広島市こども文化科学館	P. 74	企画調整部
不動院金堂	P. 75	企画調整部
三瀧寺多宝塔	P. 75	(財)広島観光コンベンションビューロー
旧陸軍糧秣支廠建物（広島市郷土資料館）	P. 75	企画調整部
史跡広島城跡 二の丸	P. 77	企画調整部
市民球場	P. 82	企画調整部
広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）	P. 86	企画調整部
投票風景	P.103	広島市選挙管理委員会事務局
開票風景	P.103	広島市選挙管理委員会事務局
消防写生大会	P.113	消防局予防部予防課
消防局通信司令室	P.113	消防局警防部警防課
原爆ドーム	P.136	企画調整部
広島城	P.136	(財)広島観光コンベンションビューロー
広島土産	P.137	(財)広島観光コンベンションビューロー

平成18年版 広島市勢要覧

---

平成19年 2月発行

登録番号 広C5 - 2006 - 207

編集・発行 広島市企画総務局企画調整部  
広島市中区国泰寺町一丁目 6番34号  
電話082-504-2012 (直通)

印刷 鯉城印刷株式会社  
広島市中区十日市町二丁目 8番 2号  
電話082-232-8247

---